

事務事業名		佐野市安全運転事業所連絡協議会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	田沼行政センター
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	総務係	担当課長名	山口みどり	
	施策	1 効率的な行政経営の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 効率的・効果的な事務事業の推進と組織編成					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1142	一般	2	1	6	佐野市安全運転事業所連絡協議会参画事業(田沼行政センター)					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	なし					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
						事業分類		参画事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)						
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)				
・佐野市安全運転事業所連絡協議会に会員として負担金を支出している。 ・田沼行政センター長が会員になっている。 * 佐野市安全運転事業所連絡協議会は、事業所における運転者及び車両の安全運転に関する調査を行い、事業所における交通事故の防止を図り、地域の交通安全に寄与することを目的とする団体である。		(市の活動) 佐野市安全運転事業所連絡協議会に会員として負担金を支出 (佐野市安全運転事業所連絡協議会の活動) 安全運転管理者講習参加、交通安全事故防止対策の推進				
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
		会議等出席回数	回	2	10	5
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)						
・安全運転管理者を設置しなければならない		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
		対象職員数	人	1	1	1
目的						
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)						
①安全運転管理者体制の強化、運転者の資質の向上		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)
②交通安全に寄与することにより、事故等を防ぐ		公用車事故件数	件	2	1	0
④結果(どのような結果に結びつきますか?)						
総合計画に基づいた効率的・効果的な事務事業の執行を推進するとともに、それに向けた組織編成がなされる。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)
		休廃止した事務事業数	事業	130	89	115
		見直しの図られた事務事業数	事業	465	498	595

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	10	10	10			
	事業費計(A)	千円	10	10	10	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	10	負担金	10	負担金	10
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	32	32	32	32	32		
人件費計(B)	千円	125	126	126	126	126		
トータルコスト(A)+(B)	千円	135	136	136	126	126		

事務事業名	佐野市安全運転事業所連絡協議会参画事業	担当部	市民生活部	担当課	田沼行政センター	担当係	総務係
-------	---------------------	-----	-------	-----	----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	不明
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 ・公用車の事故を防ぐことにより経費節減につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 ・講習会に参加し、運転者の資質の向上を図り、公用車の事故の減少につなげる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 ・運転者の資質の向上は、交通安全に寄与すると共に事故等による経費の削減を図ることができ、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 ・本市では、OJT推進員による職員への交通安全研修を実施し、事故防止を徹底させているが、交通違反、事故等は運転者個々の法令遵守やマナーの問題であり、これ以上の成果向上は期待できない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 類似事務事業名 佐野市安全運転事業所連絡協議会参画事業 ・事業所ごとに参画するものであり、統一できない。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 ・必要最低限の参画であり、これ以上の削減はできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 ・受益者は特定されず、負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 佐野地区の安全運転管理者が取り組むものであり、継続して参画する必要がある。公用車を5台以上使用する限り終了にはならない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			